

# 東洋消毒株式会社

訪問者

(公社)東京都ペストコントロール協会理事 広報委員長 葛西 晋平

第2回目の今回は、葛飾区に本社がある東洋消毒(株)にお邪魔した。当日は現場での作業が多忙を極めるとの事で社員の方々とはお会いできなかったが、経理を担当されている奥様と共に、永安社長にお出迎え頂いた。会社や永安氏個人の話や聞くと共に、最近セアカゴケグモの大量発生が近隣であったとの事で、その話を詳しく伺ってみる。



本社正面にて 永安社長と社長夫人

葛飾区と聞けば、映画「男はつらいよ」の柴又帝釈天、漫画「こちら亀有公園前派出所」の亀有などが思い出されるが、今回お邪魔した東洋消毒(株)の所在地は水元である。都内最大の水郷公園である水元公園があり、初夏のころには200種14,000本の花菖蒲が目を楽しませてくれる。

今回お邪魔した「東洋消毒株式会社」は東京都葛飾区水元5-11-18に存在し、葛西が平成26年10月30日に訪問し代表取締役社長永安卓利さんにお話を伺った。お忙しい中、様々なお話を伺う時間を作ってくくださったことに深い謝意を表します。

(葛西) 本日はお忙しい中、取材に応じて頂きありがとうございます。

(永安) 少し緊張しています(笑)。お手柔らかにお願いします。

(葛西) 最初に会社の創業から現在に至るまでのお話をお聞かせください。

(永安) 父でもある先代の社長が、昭和41年に「協栄研磨」と言う、時計の金属製ベルトを加工する会社を興したのが私ど

# 東洋消毒株式会社

もの創業という事になります。当時はPCOの業務は全く行っておらず、ベルトの加工のみを生業としておりました。

(葛西) 御社がPCOに携わるきっかけは何だったのですか？

(永安) 昭和49年頃、景気が悪くなってきた訳ではなかったのですが鈍化(業界的に)してきた、また海外の部品の方が安いという事で注文量が減ってきたようです。

(葛西) そちらを止めてしまって、PCO業務に切り替えたのでしょうか？

(永安) いや、切り替えたわけではないです。ただ父はこのままでは先細りが目に見えていると考え、アメニティ製品のリースだとか、PCO業務を手掛けていた某社の営業所長から「将来性がある業界」と言う話を聞き、父が一人でPCOとしろあり防除業務を始めました。父が一人でそちらを始めました。最初は年間売上が100万円前後位しかなかったらしいです。

(葛西) お父上は、PCO業界にお知り合いなどいらっしやったのですか？

(永安) いや全く伝手も無く、方々問い合わせながら手探りでやってたらしいです。そんな中、鵬凶商事の先代会長に、機材や薬剤の事で随分教えて頂いたそうです。それと前後して東京PC協会や

日本しろあり対策協会に入りました。

(葛西) 「東洋消毒」という社名に変更なさったのもその時期ですか？

(永安) それはもう少し後ですね。4、5年後だったと聞きました。手応えを感じて、いよいよ本業を切り替えようと決心したのではないのでしょうか。

(葛西) 思い切った方向転換ですね。私は優柔不断なので決して出来ない(笑)。では、永安さんがPCO業界に入るきっかけを教えてください。

(永安) 特にきっかけは無いのですが、父の手伝いをしようと大学を卒業して、兵庫県のアベックス(株)に修行に行きました。

(葛西) 飛び込みですか？

(永安) いや、当時社長の酒徳様を鵬凶商事の芝生社長経由で取り次いで頂き、それでお世話になりました。研究室に1か月、現場での実務が約1年の修行でしたね。

(葛西) それはいつ頃の話ですか？

(永安) 跡を継いで30年ですので、昭和58年くらいかな。それから東京に戻って会社に入りました。アベックスさんの研究室に少しいたのと、当時機材などもどんどん新しい

ものが出来ていたもので、顕微鏡はしっかりした物を揃えようと父に言って100万位した光学顕微鏡を購入したりしました(笑)。今は使えないんですが、残してありますから後で見てください。

(葛西) 親子そろって思い切りがいい!

(永安) 新し物好きかも! (笑)。それは冗談ですが、うちの仕事のやり方にあった機材を揃えたいと思いましたので、少々高くつきましたが購入しました。その後も機材だけではなく、薬剤なども良さそうだなと思うと試すようにしています。あっ、やっぱり新しい物好きなんだ(笑)。



保管してあった実態顕微鏡

(葛西) 間違いありません(笑)。さて、冗談ばかりではいけませんので業務のお話を伺いたいと思います。最近近隣でセアカゴケグモの発生があって、御社で対応したと聞きました。その時の状況を教えてください。

(永安) 役所の仕事だったので具体的な依頼元と発生場所は伏せますが、所有する敷地内にセアカゴケグモが出たので対応してもらいたいとの連絡を受けました。電話で聞いた状況だと一般の方が利用する場所ではないが、水辺に近い場所だという事で薬剤のドリフトに注意しなければいけないなと考えましたね。

(葛西) 現場を確認するまでは、緊張しますね。

(永安) 現場に到着してみると、とても敷地が広いのです。現場管理者に詳細を聞くと、側溝の中で発見されたらしく、しかも広範囲に及んでいる。先ほども言いましたが、水辺に近いという事で、動力噴霧器を使って勢いをつけて散布するとドリフトしてしまう。となるとハンドスプレーヤーで細かく散布しなくてはならない。更に側溝にはグレーチングが被せてあって、四隅をボルトで留めてあるんです。結果、まずボルトを外してグレーチングを開けて作業をしなくてははいけませんでした。

(葛西) かなりの作業量ですね。グレーチングもそれなりに重量があるし…幾つぐらいあったんですか?

(永安) 100か所以上です!



作業場所の一部



セアカゴケグモ♀(上) 採取した卵囊(下)

(葛西) 聞いているだけでゾッとします。

(永安) そのまま帰る訳にはいきませんから、地道に作業を行いました。10人でグレーチングを開ける、薬剤散布する、閉めるを交代で行い1日掛かりでしたね。

ちなみに薬剤はエトフェンプロックスを使用しました。希釈倍率は殺虫可能ぎりぎりまで薄めましたが。

(葛西) 大変ご苦労なされたのですね。ところで水場付近はどの様になされたのですか？

(永安) ハンドスプレイヤーを使用すると言っても万一があってはいけないので、巣や卵囊ごと捕虫して敷地内の安全な場所へ運び薬剤散布や焼却しました。重労働もさることながら、デリケートな場所での作業ですから、かなり精神的にストレスを感じましたね。

(永安) 結果的に大きな問題も無く、作業者も嘸まれたりする者もいませんでした。

私も含め会社として良い経験をさせてもらえたと思っています。

(葛西) 貴重なお話を有難うございます。纏めて頂いて、是非どこかで発表して下さい。次に東京協会、業界についてお考えを伺わせてください。

(永安) 東京協会は良いと思います。和気あいあいとして。技術や知識を教えてください。先輩や、同世代の仲間がいますし。講習会も良い勉強の場になります。

(葛西) ただ先輩方も引退なさったりで少なくなってます。寂しい限りですが、若手をもっと盛り立てていかないといけないですね。では業界に対してはどうですか？

(永安) 若手を育てたいですね。当社だけの話ではなく、業界として。僕らが教え

てもらった技術知識に、自分の経験を加味して伝えていきたい。衛生害虫だけじゃなく、これからは感染症の問題も増えてくると思います。それらの発生場所や状況もまちまちですから、それに対応する柔軟性は必要です。それを助けてあげられるように。

機材、薬剤はどんどん新しいものがでてくるでしょう、そういう意味では楽になるかもしれないですが、経験だけは伝えてあげないといけないですからね。

(葛西) そうすると、本気で発表を考えて頂かないと(笑)。では、最後にお好きな事をお話してください。

(永安) 私は現場が大好きです。いまだに私自身も現場に出ますが、会社として夜間の業務は基本やっていません。齢の所為もありますが、スケジュール的に

仕事が切れなくなってしまったものですから。小さい規模なのでシフトに無理が出てしまって…。とにかく何時も忙しかった。もちろん単価的な問題もありますが、そういう意味で受注の調整をしていたら、結果的にやらなくなってしまいました。たまに断れない仕事もあるんでやりますけど、三日は体調が悪いです(笑)。

(葛西) 夜間の作業は間違いなく多いですが、確かに単価は割に合わない事が多いですね。それにしても言いたい事言ってくれましたね(笑)。

本日は長い時間お話を伺わせて頂きありがとうございました。

私も後進の事を考えなければいけないなと思いました。

今後も協会に対し、要望や意見など寄せてください。参考にさせていただきます。

